

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年1月5日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873200349		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム れんぎょう	ユニット名	西館
所在地	319-0206 茨城県笠間市安居3144-521		
自己評価作成日	平成26年5月24日	評価結果 市町村受理日	平成26年12月25日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	12/10現在削除中
-----------------	------------

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年7月4日	評価機関 決裁日	平成26年12月9日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

行事を行う事で季節感を感じて貰える様にしています 個人の出来る事を大切にして れんぎょうで生活してよかったと思って頂ける様な支援が出来る様に努めています
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

医療と福祉の連携を重視する代表者の考えのもとで開設された事業所である。 管理者は、「自分がされて嫌なことはしない・言わない」という信念を持って職員に現場教育をするなど、リーダーシップを発揮して運営にあたっている。 職員は管理者が目指すところを理解し、利用者の役割意識や笑顔を大切にしながら良好なチームワークで支援をしている。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を共有し実践につなげられるように努めています 理念は 何時も見えるところに掲示 唱和で確認する事もあります	全職員で話し合っって作成した「日々笑顔のある生活」や「近隣の方、共に暮らす方とのふれあいを大切に」、「おたがいにささえ合い」などのキーワードが入った事業所独自の理念を掲げている。 理念を玄関や各ユニットの食堂兼居間に掲示するとともに、職員は毎朝の申し送り時に理念をお互いに確認する中で、利用者の役割意識を大切にして笑顔で生活ができるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的には有りませんが 行事等の参加を呼びかける事 散歩での挨拶や 前の工場の駐車場を借りる事もあります 個人で付き合いを持っている人がいます	事業所の納涼祭や敬老会に地域住民を招待しており、利用者は行事に参加した地域住民と交流するとともに、散歩の際に地域住民と挨拶を交わす中で、果物や野菜を頂いたり、近隣の猫のペット仲間を訪問したりしている。 総合学習の一環として小学生を受け入れたり、芸能ボランティアが事業所に来訪して利用者と交流している。 職員は近隣の一人暮らしの高齢者宅を訪問し、話を聴いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事等に参加 ボランティアの方の来所で 認知症の方への理解は進んでいると思います		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の報告をする事で意見を頂 サービスの質の向上につなげられるように努めています	市担当者や民生委員、近隣住民などで運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、入居状況や行事の様子、外部評価結果等を報告している。 管理者は、会議出席者に利用者と同じ食事を摂っていただきながら、リラックスして話し合いができるよう工夫をしている。 花見の外出先や納涼祭などの招待者について、会議出席者の意見を踏まえながら運営に反映させている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃から市役所に出向く事で関係を築くことが出来る様に努めています	管理者は日頃から市に直接出向いて担当者に事業所の運営状況を報告するとともに、生活保護受給者の利用料支払いや身元引受人などについて相談をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については十分理解しています 玄関の設錠は行っていますが その他拘束は行わない介護に取り組んでいます	身体拘束廃止マニュアルを作成するとともに、「自分がされて嫌なことはしない」という方針を徹底する中で、身体拘束防止の掲示物や現場教育を通して、職員は身体拘束の内容や弊害について正しく理解している。 交通事故防止のために玄関を施錠しているが、共用空間や部屋の掃き出し窓から庭などに自由に出入るように支援をしている。 「基本的には身体拘束をしない」という事業所の方針や身体拘束をしないケアにより、高まる転倒リスクの低減策などについて家族等に説明をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修への参加はありませんが施設内で随時会議を行っております		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて支援しています 権利擁護の制度を利用している人がいます		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分説明し納得をして頂いてから利用をいただいている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来所時に利用者の状況を報告しながら 家族の意見・要望を吸い上げるようにしています 意見箱の設置やアンケート用紙を置いてはありますが 投書がありません	管理者は家族等が来訪した際には、お茶を飲みながら世間話しをする中で、意見や要望を出し易い雰囲気づくりに努めている。 職員は利用者や家族等からの意見や要望を「苦情・ご意見等の記録」で共有して話し合っており、「丁寧な言葉遣いをして欲しい」や「衣類のほころびに気を付けて欲しい」などの要望を受けて迅速に対応するとともに、希望にそった支援に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りの時間や随時に意見を聞き 毎月の会議で代表者に職員の要望等伝えています	管理者は毎朝の申し送り時や現場で職員の意見や提案を聴くとともに、月1回開催される法人の全体会議において、職員の意見等を代表者に伝えている。 代表者や管理者は、職員から出たスタッフ補充の要望や勤務体制の変更希望を受けて運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の相性への配慮や勤務日数が希望により配慮されている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な研修はありませんが機会があれば参加しています 研修を促すポスターは事務所に掲示されていて 自己にて研修参加するにも勤務などは考慮されます		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設との交流や研修の機会があります		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始時に十分な聞き取りを行い 不安の無い生活が送れるように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今 困っている事を十分聞き 要望を聞きながら 不安に思うことが無い様にと努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	不安な事や心配事を十分聞き ホームで出来る事 出来ない事を踏まえて 十分に話し合うようにしています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人に出来る事は一緒に行い共に生活すると言う気持ちを持っての対応に努めています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	買い物や外出を家族に依頼する事や不穏で困っている事なども随時話し合っています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望等があれば随時電話や手紙の投函を行っています	入居時のアセスメントにおいて、把握した利用者の馴染みの人や場を「生活と安全のカルテ」に記載して全職員で共有しているが、日々の生活の中で把握した結果を記録するまでには至っていない。 利用者の知人が来訪した際には、ゆっくり過ごしてもらえるよう茶菓子を出して接待するとともに、帰りには再来訪を働きかけている。 職員は家族等への電話の取次ぎや手紙の投函のほか、墓参りや馴染みの美容室への家族等との外出の際には外出準備の支援をしている。	認知症介護研究・研修センター発行の「認知症のためのケアマネージメント」の中にある「私の支援マップシート」なども参考にしながら、日々の生活の中で把握した馴染みの人や場を記録に残して全職員で共有することを期待する。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いが支えあう事が出来る様に配慮しトラブルになる事が無い様に見守りや一緒に行動をしています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了は逝去の為継続の支援はありません		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを十分聴き いまままでの生活歴・生活習慣を聴いて本人の意向を推し測るように努めています	管理者は国際生活分類機能など、さまざまなアセスメント手法を組み合わせながら利用者の希望や意向を把握している。 日々の支援の中で把握した思いや意向をケース記録に記載しているが、記載内容が日常記録に埋もれがちであり、全職員で共有するまでには至っていない。 把握が困難な利用者の中には生活歴や日々の言動、表情などから思いや意向を把握している。	利用者や家族等の思いや意向を把握することが、ケアの出発点であることを再認識し、把握した思いや意向をサインペンで強調するなど、全職員で共有して介護計画に反映していくことを期待する。
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時の聞き取りで把握するように努めています		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りや 日々の暮らしの中から把握するように努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の思いや本人の思いを念頭に 担当者会議で話し合っています	計画作成担当者が利用者や家族等の意向にそって作成した介護計画案を基に、管理者や職員が参加する会議において医療関係者の意見を踏まえて話し合い、残存能力を活かした介護計画を作成している。 3ヶ月毎に評価を実施して介護計画を見直すとともに、利用者が怪我をしたなど状態に変化が生じた場合には、随時介護計画を見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録や暮らしの中での気づきや結果を随時話し合っ てゆくように努めています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々 に生まれるニーズに対応して、 既存のサービスに捉われない、 柔軟な支援やサービスの多機 能化に取り組んでいる	随時家族と相談しながら対 応しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えて いる地域資源を把握し、本人 が心身の力を発揮しながら安 全で豊かな暮らしを楽しむ ことができるよう支援してい る	ボランティアの依頼を行い、 楽しく過ごす事が出来る様 に努めています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希 望を大切に、納得が得られた かかりつけ医と事業所の関係 を築きながら、適切な医療を 受けられるように支援してい る	協力病院の受診となっております が、家族の協力により、他病 院受診の支援も行っております	協力医療機関以外への受診を希 望する場合は家族等が付き添 うことを基本としているが、 家族等の付き添いが困難な 場合には職員が付き添うなど の支援をしている。 家族等が付き添って受診する 際には、職員は受診に付き 添う家族等にバイタルサイン などのコピーを手渡したり、 医師にファックスで情報提供 をしたりするとともに、受診 結果を申し送りノートに記 載して全職員で共有している。 職員が受診に付き添った場 合には、受診結果を家族等に 電話で報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中 でとらえた情報や気づきを、 職場内の看護職員や訪問看護 師等に伝えて相談し、個々の 利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援してい る	随時に病院とは連絡をとりな がら利用者の体調の管理を行 っております		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリー等により利用者が安心して療養できるようにしています。また、なるべく早期の退院が出来る様に、随時医師・看護師と連携を取っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	看取り介護はしていませんが、家族等の希望があり、医療処置が無ければなるべくホームで過ごす事が出来る様に努めています。	事業所として基本的に看取り介護を実施しない旨を明記した「グループホームれんぎょうにおける重度化・看取りに関する説明及び同意書」を作成し、契約時に説明して書面で同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救命講習に交替で参加するなどとしています。応急手当については、随時に看護師より指導を受けて対応しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を行うと共に、隣接する施設との協働訓練もおこなう様にしています。	夜間想定を含む避難訓練を年2回実施するとともに、消防署の講評を含む避難訓練記録を残しているが、避難限界時間や完了時間を明記したり、そのための課題を浮き彫りにしたりするまでには至っていない。 運営推進会議などの際に地域住民に避難訓練への参加を呼びかけているが、具体的な協力体制を構築するまでには至っていない。 災害に備えて食料品や水のほかに懐中電灯や毛布などを備蓄している。	事業所職員のみによる避難誘導の限界などの課題を浮き彫りにする中で、地域住民との協力体制を早期に構築することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各個人に応じた言葉使いをするようにしています	管理者は、「自分が言われて嫌と思うような言葉遣いはしない」という信念を持って人格尊重に関する現場教育をするとともに、職員は名前を呼ぶ際に「ちゃん付けとさん付けのどちらで呼んで欲しいか」を聞くなど、利用者一人ひとりに合った言葉かけをしている。 排泄誘導の際には、誇りやプライバシーに配慮して耳元で話しかけている。 個人の情報ファイルは、事務室の扉がついた棚に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各個人の力量に応じて 自己決定が出来る様に支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活の中で 一人ひとりのペースを大切に出来る様にと努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分なりのおしゃれや身だしなみ出来る様に支援しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しめるように 職員も一緒にテーブルで食事し 各個人の好き嫌いにも配慮しています 下膳はしていただいています 気が向くと洗い物も一緒に行っています	法人の管理栄養士が作成した献立に従って法人から食材が配達されるシステムとなっているが、利用者の希望や嗜好にそって調理方法を変えたり、自家菜園で収穫した旬の野菜や果物を食材に加えたりしている。 誕生日や季節行事の際に、利用者の希望を取り入れた特別食を提供している。 職員は利用者と一緒に食卓を囲んで楽しく食事をしているほか、利用者は職員の支援を得ながら食事の準備や後片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表を活用し 食事量が少なくなる様な人は個別に記録をしています		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行なえるように支援しています		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間オムツ使用の人はいますが随時のトイレ誘導 定時のトイレ誘導で トイレでの排泄を支援しています	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、時間を定めて前誘導をすることによりトイレで排泄ができるよう支援をしている。 利用者に応じてパッドの形状や大きさを使い分けるなど、日中はおむつを使用せず布パンツで過ごせるように工夫している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や運動を促して便秘予防に取り組んでいます		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決まっていますが各個人がユックリ入浴出来る様に努めています 季節に応じて菖蒲湯やゆず湯などを楽しんでいただいています	週2回の入浴を基本としている。ユニット毎に入浴日をずらしており、希望すれば他ユニットの入浴日での入浴やシャワー浴を含め、毎日入浴ができるよう支援をしているが、勤務体制の関係で夜間の入浴希望に対応するまでには至っていない。 菖蒲湯や柚子湯、入浴剤を使用するなど、入浴が楽しみなものとなるよう工夫をしている。	家庭的な環境という観点から、夜間帯の入浴支援に向けて話し合うことを期待する。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間は良く入眠出来る様に 日中は散歩など活動的に過ごせるように支援し 昼食後に午睡の支援を行っています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については 職員が共有し誤薬をする事が無い様に努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事で役割が持てる様に支援し 自由にコーヒーやお茶を入れて飲めるように支援しています 季節に応じた行事を行う事で楽しんでいただいております		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日のように散歩には出かけていますが 普段行けないようなところは 家族に依頼しています 外来受診時にドライブを楽しむ事は行っています	天気の良い日にはほぼ毎日、事業所周辺の散歩や近くのスーパーでの買い物を支援している。 事業所が自由に使用できる車がないという制限がある中で、関連法人が運営する隣接の小規模多機能型居宅介護事業所にリフト車をやりくりしてもらい、年3回から4回は歩行困難な利用者も一緒に花見などに外出ができるよう努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理している人はいますが持たない人が多いです		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話から自由に電話をしています 番号を押す支援をする事もあります 手紙の投函は随時行っています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花や飾り物を飾り季節感を感じる事が出来る様に支援しています また 散歩のときに摘んできた花を居室にいける方の支援をしています テレビの音や陽の光・室温にも配慮し快適に過ごす事が出来る様に努めています	小上がりの和室が付いた明るく広い居間兼食堂や玄関は、利用者が散歩の途中で摘んできた季節の花を飾ったり、観葉植物や金魚の水槽を配置したりして落ち着いた家庭的な雰囲気となっている。 廊下に総合学習で訪れた小学生からの手紙や利用者の折鶴作品などを飾るとともに、所々にベンチを配置し、利用者が思い思いの場所でゆったりと過ごせるように配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間もいつの間にか座る場所が決まっていたりしていますが、各個人が好きなように過ごす事が出来る様に支援しています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものの持込をお願いしたりして、各個人は自由に居室を使用しています	職員は家族等と話し合う中で、居室にサイドボードや洋服ダンス、籐椅子、ラジオなど、使い慣れた物品を持ち込んでもらう働きかけをしているほか、折鶴作品や家族の写真を飾るなど、一人ひとりの生活スタイルに合った居室づくりができるよう支援をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーになっていて、手すりの設置をして自立した生活ができる様に支援し、場所の間違いが起きないように目印を置くなどの工夫をしています		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが ○ 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム れんぎょう

作成日 平成26年12月30日

]

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		日々の生活の場で把握した馴染みの人や場所の記録が無く職員が共有できていない	記録が出来 職員間の共有が出来る	朝のミーティングや申し送りノートを活用してゆく	6ヶ月
2		日々の支援の中で知りえた本人の希望や意向の記録が 日常の記録に埋もれていて 職員間の共有が出来ていない	記録の明確化が出来 職員間で共有できる	申し送りノートに記録 ミーティングを行い職員間の共有を図る	6ヶ月
3		避難の限界時間や完了時間の記録が無く課題が浮き彫りに出来ていない 地域住民との協力体制が構築できていない	避難限界時間の記録や完了時間の記録 課題の記録や取り組みを記録する	現在近隣施設との協力体制の構築中 課題の解消に取り組んでいる 近隣住民の方には安全な避難先としてお願いしている	現在進行中
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。